

別紙標準様式（第7条関係）

△ 議 録

会 議 の 名 称	平成29年度 第3回枚方市病院事業運営審議委員会
開 催 日 時	平成30年2月13日（火） 15時00分から 16時00分まで
開 催 場 所	市立ひらかた病院 2階 講堂
出 席 者	委員：西田委員長・田口副委員長・堤委員・妹尾委員・ 大橋委員・上野委員・藤本委員 病院：高井病院事業管理者・森田病院長・坂根副院長・ 赤塚副院長、本合副院長・西村事務局長他
欠 席 者	原委員、石上副院長
案 件 名	1. 平成29年度の業務状況について 2. 平成30年度の取り組みについて 3. 有効活用地について 4. その他
提出された資料等の 名 称	・平成29年度の業務状況について ・平成30年度の取り組みについて ・平成29年度枚方市医療産業連携勉強会の開催について ・地域連携セミナー「慢性疲労症候群を知ろう」
決 定 事 項 等	・案件1～4について説明を受け、質疑応答にて確認を行う。
会議の公開、非公開の 別及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表 の別及び非公表の理由	公表
傍 聴 者	1名
所管部署（事務局）	市立ひらかた病院 事務局 経営企画課

審 議 内 容	
○西田委員長	<p>開会に際しまして、一言ごあいさつを申し上げます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、大変お忙しいところ、本日の委員会にご出席をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>暦の上では立春を過ぎたとはいえ、まだまだ寒い日が続いておりますので、皆様におかれましては、お体にご自愛くださいますようお願い申し上げます。</p> <p>さて、本日の委員会の案件は、「平成 29 年度の業務状況について」「平成 30 年度の取り組みについて」を予定しております。</p> <p>委員の皆様には、委員会運営にご協力いただきますようお願い申し上げます。</p> <p>それでは、会議に先立ちまして、委員の出席状況について、事務局に報告を求めます。</p> <p>西村事務局長。</p>
○西村事務局長	<p>委員の出席状況についてご報告致します。</p> <p>本日の委員会の出席委員は 6 名でございます。</p> <p>なお、藤本委員については、少し遅れられる旨の連絡をいただいております。また、原委員につきましては、本日は所用のため欠席する旨のご報告をいただいております。以上で報告を終わります。</p>
○西田委員長	<p>ただいま報告がありましたとおり、出席委員は定足数に達しておりますので、これより平成 29 年度第 3 回枚方市病院事業運営審議委員会を開会致します。</p> <p>本会議の公開・非公開の取り扱いにつきましては、第 1 回委員会において、公開とさせていただくことになりましたが、本日、傍聴希望者はおられますか。</p> <p>山本経営企画課長。</p>
○山本経営企画課長	<p>本日、1 名の方より、傍聴の希望をいただいております。</p>
○西田委員長	<p>それでは、傍聴希望者の入場を認めます。</p> <p>(傍聴希望者の入場)</p>
○西田委員長	<p>それでは、まず、病院事業管理者よりあいさつをお受けしたいと思います。高井病院事業管理者。</p>
○高井病院事業管理者	<p>[高井病院事業管理者の挨拶]</p>

<p>○西田委員長</p>	<p>それでは、これより議事に入ります。 案件第1「平成29年度の業務状況について」を議題とします。 事務局に説明を求めます。 辻本医事課長。</p>
<p>○辻本医事課長</p>	<p>それでは、案件第1「平成29年度の業務状況について」ご説明させていただきます。 資料1をご覧ください。 はじめに「1. 入院関係」でございますが、一段目のグラフは、平均入院患者数と平均在院日数の推移となっており、二段目のグラフは、新入院患者数と病床利用率の推移となっております。 平均入院患者数及び病床利用率は、共に横ばいの状況となっております。 新入院患者数が平成29年度に大きく伸びていますのは、次のページでも説明させていただきますが、救急搬送者の応需件数の増加に伴い、緊急入院患者が増えたことが要因の一つと思われる、新入院患者数が増加しても病床利用率が上がらない理由としては、平均在院日数が短くなったことが要因と思われます。平均在院日数が短くなった理由については、緊急入院された患者については、比較的早期に退院される場合が多く、重篤化している患者より比較的軽症な患者が増加していることが要因と考えております。 なお、速報値ではありますが、1月の病床利用率は78.8%で、2月では12日までの病床利用率は86.3%となっております。先ほど管理者より申しあげたとおり、これはインフルエンザの流行によるものか、大きく内科系の患者が増えている状況となっております。 次に「2. 外来関係」でございますが、1日平均外来患者数は、ほぼ横ばいの状況となっております。これは、投薬のみなどの病状が安定している患者には、「かかりつけ医」への逆紹介を行っていることが要因と考えております。 次に「3. 救急関係」でございますが、平成28年度の救急搬送患者の応需率が、60%台と低迷していたことから、平成28年度の後半から応需率の目標を80%としました。その結果、グラフをご覧くださいとおり、目標の80%を超える応需率となっております。救急搬送患者を受け入れることは、公立病院の責務であり病院の使命であることを改めて職員に徹底したことが、成果に繋がりました。 次に「4. 紹介率・逆紹介率」でございますが、国が推進しております地域包括ケアシステムの推進及び「地域医療支援</p>

	<p>病院」の承認を目指し、承認要件である紹介率 50%、逆紹介率 70%を目標としております。医師会、歯科医師会など地域の医療機関への働きかけを強化することで、平成 29 年度の 12 月までの平均の紹介率が 49.3%、逆紹介率が 72.5%となっております。ちなみに速報値ですが、1 月の平均の紹介率が 50.8%となっております。説明は以上でございます。</p>
○西田委員長	<p>これよりご質問・ご意見をお受けします。 ご質問・ご意見はありませんか。 堤委員。</p>
○堤委員	<p>「3. 救急関係」についてですが、平成 29 年度は応需率 80%を目標にしたということですが、今後は 100%なのか、また目標決めていくのでしょうか。</p> <p>また、平成 28 年度と平成 29 年度の応需率を比較して、平成 28 年度は低いと見えてしまいますが、平成 29 年度は職員に徹底したことが向上の要因と説明がありますが、病院の方としても受け入れ体制ができたということでしょうか。</p>
○辻本医事課長	<p>現在の目標は、80%としております。実際のところ、90%、100%を目指すのが病院の使命です。インフルエンザ等で病棟が一杯になって厳しい状況もありますが、病院としては 100%を目指し、なるべく達成できるように心がけていく状況です。</p> <p>また、28 年度の応需率が低かったことについてですが、病院の体制として、そこまであまり注視してこなかった面もありました。救急外来と病棟の医師との意思の疎通も含めてきっちり取り組んでいくことで、応需もし易くなるということ、本院の方針として打ち出して、応需率が向上したという状況です。</p>
○堤委員	<p>「使命を徹底した」ということのみにとらえてしまうので、受入体制もそれなりにとられたという理解でよろしいか。</p>
○辻本医事課長	<p>医師の数を増やしたということだけでなく、連携を密に図っていくところを徹底したということです。</p>
○堤委員	<p>最近、救急車で運ばれた方が、だいぶ待たされた挙句、枚方の病院が無理で、結局、守口の病院へ搬送された事例がありました。他の病院の連携のこともありますが、市民の方にとってできるだけ近い病院で受入れてもらえればありがたいので、ここは是非よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>

○西田委員長	ご意見でよろしいですね。
○堤委員	はい。
○西田委員長	他にご質問・ご意見はありませんか。
○上野委員	上野委員。
○上野委員	「4. 紹介率・逆紹介率」についてですが、目標として紹介率が50%・逆紹介率が70%ということですが、経営的な面も考えてこの目標があるのでしょうか。
○辻本医事課長	経営的な面もあります。つまり紹介率を上げることで、重症患者が増えますし、逆紹介率を上げることで、地域のところへお返しする。地域包括ケアシステムの確立の推進にも繋がり、また、本院の収益の増加にも繋がると考えます。「地域医療支援病院」の承認要件は、紹介率が50%・逆紹介率が70%でありますので、そこは必ず目標にしなければならないところです。
○上野委員	国も推進している「かかりつけ医」についてですが、ひらかた病院の目指す方向性や「かかりつけ医」との関係についてはどのようにしていくのでしょうか。
○西村事務局長	まずは、地域の先生方に信頼される病院、何かがあった時に紹介したら、診てくれる病院という信頼感が大きいと思います。信頼感が増していくことで紹介患者が増えてくると思いますが、本院の空床も埋めていくことは可能になり、稼働率も上がります。そのために必要なことは、本院に紹介いただいた患者さんを、いかに地域の先生にきっちり診療した上で、お返しをするかと考えます。また、患者さんにとっても、大きい病院に来て長い時間待つということではなくて、地域で「かかりつけ医」を持つという意識を持っていただき、ただ何かがあったときには、大きい病院を紹介してもらえるとという市民の皆さんの安心感にも繋がります。これは、国の目指しているシステムになります。また、「地域医療支援病院」の承認を受けると、入院医療費が収益として3%位上がります。年間でかなりの額の収益確保策の一つにも繋がります。皆それぞれWIN&WINの関係で、皆さんがメリットを享受できるよう本院を運営できたいと、そこを目指したいと考えております。
○上野委員	少し前から「地域医療支援病院」の取得を目標にしていると思うが。取得が延びている理由については何かありますか。

<p>○西村事務局長</p>	<p>確かに数年前から目指しています。ただ、紹介率はなかなか一挙に上がるものではなくて、いかに地域の先生方から信頼感があるかによって変わってくる数字です。ここはしっかり地域の先生方と顔の見える関係を作るといこと、それから送っていただいた患者さんに安全な治療を行い、お返しするといことをして、2年、3年をかけて、やっと数字が上がってきていると把握しています。</p> <p>一方、逆紹介率は、本院の先生が地域の先生へ患者さんをお願いする旨で書面を書くものですので、こちらの方は院内の先生の意識を上げることで、数字が上がってくるものです。そういう意味では、逆紹介率は本院のコントロールで上げることができるのですが、紹介率は、2年、3年の長期のスパンで取り組まないとなかなか上がってこない。現在、国が示している紹介率が50%・逆紹介率が70%を目指して、努力を積み重ねているところです。</p>
<p>○上野委員</p>	<p>10月から紹介率50%を超えていますので、コンスタントに維持していけば、近くなるということでしょうか。しっかりよろしくをお願いします。</p>
<p>○西田委員長</p>	<p>他にご質問・ご意見はありませんか。 妹尾委員。</p>
<p>○妹尾委員</p>	<p>救急関係の応需率を見ておりますと、老婆心ながら伺いますが、最近、新聞によると、日赤病院で36協定違反とか、医師の時間外勤務の未払いとかがありましたが、本院でこれだけ応需率が上がると、ふとそういう懸念も持つが、問題ありませんよね。</p>
<p>○辻本医事課長</p>	<p>救急外来の医師ですが、応援の医師を別に採用しております。救急以外も、当直の医師についても当番制によっておりますので、それ以外の医師が残ることは基本的にないので、そのあたりは大丈夫です。</p>
<p>○西田委員長</p>	<p>他にご質問・ご意見はありませんか。 藤本委員。</p>
<p>○藤本委員</p>	<p>紹介率、逆紹介率のことですが、国の方は大きく分けて、開業医に外来機能を推進しようと、他方、病院は入院機能を重点的にしなさいという、すみわけを行っています。我々開業医と</p>

	<p>しては、普通の患者さんを外来で診るときは、かかりつけ医として機能する必要がありますし、もし何か起こったときや検査の際は、ひらかた病院も利用させていただきたい。そこで紹介状が必要になりますので、我々としては、どんどん紹介状を書いて、新病院へ紹介させていただいて紹介率を上げる。逆紹介に関しては、新病院から我々の方へ、外来で続けて診てください、という依頼になる。そこの連携を深めること、文書1枚で診療情報提供書により、患者さんが入院したり、外来に戻ったりする。今後とも我々がすべきことは、入院の時には紹介状を書いて、お願いするということが大事になる。</p> <p>「地域医療支援病院」の資格を取って、北河内圏域では5つの病院になるということですが、先ほどの話によると、皆さんが資格を取って、財政的にも潤っていくようなことが必要であると思います。我々医師会も是非協力したいと思う。</p>
○西田委員長	<p>他にご質問・ご意見はありませんか。 大橋委員。</p>
○大橋委員	<p>先日、消防議会の方でドクターカーの運用についてお聞きしまして、たぶん救急隊の総出動件数から言うと微々たるものだと思いますので、おそらく影響はないと思われませんが、いずれかの数値に影響があるのかを念のためにお聞きしたい。</p> <p>また、ドクターカーによって、ひらかた病院の管轄の中で、これまでだったらなかなか難しかった事案について、導入の成果など、もし事例があれば教えていただきたい。</p>
○辻本医事課長	<p>本院は、二次救急という形になっておりますので、直接ドクターカーされたことによる影響は感じていないところです。救急隊との意見交換は行っていますが、そのあたりの話は聞いていないので、今のところはそのあたりの状況は把握しておりません。</p>
○西田委員長	<p>高井病院事業管理者。</p>
○高井病院事業管理者	<p>補足させていただきますと、本院は二次救急医療機関です。ドクターカーは、搬送される患者さんがより重篤な三次救急医療機関が対象となります。搬送先も関西医大となっておりますので、影響としてはないと考えておりますし、ドクターカーが本院へ搬送してくる想定はないと考えています。</p>
○大橋委員	<p>質問の趣旨は、ドクターカーの出動にあたっては、キーワー</p>

<p>○西田委員長</p>	<p>ド検索になっていると聞いています。本当に対象の方に百発百中でいける訳ではないとお聞きしています。そういった状況で、二次救急である市立ひらかた病院に結果として搬送されてくることも特段ないということですね。わかりました。</p> <p>他ご質問・ご意見はありませんか。 特にないようですので、本件については、この程度にとどめます。</p> <p>次に案件第2「平成30年度の取り組みについて」を議題とします。事務局に説明を求めます。 山本次長兼経営管理室長。</p>
<p>○山本経営管理室長</p>	<p>それでは、「平成30年度の取り組みについて」資料2に基づき、ご説明させていただきます。</p> <p>本院では、現在、病院改革プランに基づき、経営の健全化に取り組んでいるところですが、平成30年度においても、引き続き経営の健全化及び、案件1でご説明させていただいた業務状況等を踏まえつつ、本院が地域における中核病院としての役割を果たしていくため、特に重点的に取り組むべき平成30年度の方針をご報告させていただきます。</p> <p>まず、地域連携の強化でございます。今後、地域診療所の信頼を高め、紹介患者数・紹介率をさらに向上させるため、訪問をはじめとした営業活動をこれまで以上に強化していくものです。また、これらに対応するため、地域医療連携室の体制を強化していきたいと考えております。</p> <p>次に、救急医療についてです。市立病院の責務として、救急搬送応需率、平成29年度は一定上昇しましたが、更なる向上に努め、「断らない救急医療」の実現を目指したいと考えております。</p> <p>3点目ですが、急性期病院として、また、がん診療拠点病院として、紹介患者も含めた手術件数を増加に取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>これらにつきましては、先程からご説明させていただいてますとおり、平成29年度においても取り組んでおりますが、平成30年度におきまして、特に重点的な課題としてこれまで以上に積極的に取り組んでまいります。</p> <p>次に、新たな診療についてですが、一つ目は、近年、超高齢化が進む中において、本院においてもニーズが高まっている入院患者の精神的フォローを行っていくため、本年1月から新たに精神科を標榜し、診療を行っているところです。平成30年度は、「心のケア外来」として、予約制による外来受診の開始を検討しています。</p>

	<p>次に、平成 29 年 12 月から新たにふるさと納税において開始した「乳がんドック」について、平成 30 年度からは一般検診においても受付を実施します。検査項目は、マンモグラフィ、超音波検査、視触診です。</p> <p>以上、簡単ではございますが、平成 30 年度の重点課題と新たな診療についての説明とさせていただきます。以上です。</p>
○西田委員長	<p>これよりご質問・ご意見をお受けします。 ご質問・ご意見はありませんか。 堤委員。</p>
○堤委員	<p>重点的な取り組み方針の(1)地域連携の強化についてですが、「地域診療所の信頼を高める」とあり、「これらに対応するため、地域医療連携室の体制を強化します。」とありますが、現在はそのようにされているのかということと、どのように体制を強化されるのかをお聞きしたい。</p>
○山本経営管理室長	<p>まず現状の体制ですが、地域診療所への営業活動、予約を行っている部署に正職員で申しますと 1 名、それから退院の調整、患者さんの相談にのったりする部署に正職員につきましては 5 名となっております。その他は非常勤職員も配置しております。具体的には、検討中ですが、なかなか現在の配置では、対応しきれない体制ですので、今後検討していきたいと考えております。</p> <p>もう一つの今後の営業の強化についてですが、院内に「一診療所につき何件以上訪問すること」と目標を定めていますが、先程の体制面のこともありなかなか訪問できていない。紹介率・逆紹介率の向上を目指すうえでしっかりと取り組みを進めてまいりたいと考えております。</p>
○西田委員長	<p>他にご質問・ご意見はありませんか。 堤委員。</p>
○堤委員	<p>心のケア外来についてですが、今現在、入院患者さんやご家族の方々への精神的フォローはどうなっているのかお伺いします。</p>
○森田病院長	<p>平成 26 年 9 月に緩和ケア病棟を開棟以降、精神科医を常勤として 2 名勤務しています。彼らが他の病棟の患者と家族をフォローしています。新たに 1 月からは、どこに属しているかはつきりさせるため、精神科を標榜させていただくものです。</p>

○堤委員	<p>「心のケア外来」は、外来受診とありますが、今入院されている方も、予約して外来受診ができるということなのか、或いは、入院されている方は、その場で先生や看護師による対応をしていただけなのか、お伺いします。</p>
○森田病院長	<p>今入院されている方は今も対応していますが、その方が退院しても、その後フォローアップが必要である場合に、外来受診で対応させていただくという趣旨です。</p>
○堤委員	<p>退院後も悩みを聞いていただけるということであれば、ありがたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
○西田委員長	<p>他にご質問・ご意見はありませんか。 妹尾委員。</p>
○妹尾委員	<p>重点的な取り組みの中で、手術件数の増加とありますが、医療の質に関わるので、なかなか難しいと思います。医師不足の中でそれなりに処置ができる医師を確保しないと手術件数は伸びてこないと思っています。そのあたり大学との連携ですが、医師不足の中で、それなりの医師を確保して、医療の質を高めるのか、これは病院経営で大事な部分であると思いますが、そのあたりをお聞きしたい。</p>
○森田病院長	<p>技術を持った医師がいないと手術件数は増えてきません。現在、大阪医大との連携を密にしております、そういう手術ができる医師を昨年も1名できましたし、来年度も1名予定しております。常勤で来ていただけない場合は、非常勤で来ていただくなどして対応しております。</p>
○西田委員長	<p>他にご質問・ご意見はありませんか。 上野委員。</p>
○上野委員	<p>心のケア外来についてですが、文章で「近年、超高齢化が進む中において」とありますが、今後認知症の方も対応できる市民病院のニーズも有るかと思いますが、そこには結びつかないのか。</p>
○森田病院長	<p>認知症の患者が増えており、入院中の患者さんの中でも認知症と思われる方が居られます。今回の介護と医療報酬の同時改定でも、そういう認知症の方を診療すると、重症度、看護必要</p>

	<p>度というのがあるのですが、ポイントに入れましょうという流れになっています。本院でも先程申し上げた精神科二名による役割分担では、一人は緩和ケアを中心に、もう一人は入院中の認知症が出てきている方を中心に取り組んでいる。</p> <p>認知症外来をするかどうかについては、やはり精神科の専門病院ではないため、精神科の入院病棟を持っていないと難しいと考えます。</p>
○西田委員長	<p>他にご質問・ご意見はありませんか。 大橋委員。</p>
○大橋議員	<p>枚方市内では、東香里病院にも精神科がありますが、待ち時間も長いということで、ひらかた病院においても是非つなげていただきたいと思います。</p> <p>また、「精神科を標榜し・・・心のケア外来・」とありますが、イメージとしては不定愁訴外来ということでしょうか。また、入院されていた方のためということですが、当然外来なので、紹介状をもった方がいれば受付するということになると思いますが、そういう認識でよいか確認のためにお尋ねしたい。</p>
○森田病院長	<p>「心のケア外来」という名前にした理由ということになるかと思いますが、単に「精神科外来」とすると、患者さんにとっても抵抗を感じる方が多いということで、担当の精神科医の意見もあり採用しました。</p> <p>紹介状を持った方を受付するかどうかについては、基本的には現在入院中患者さんについて、退院後のフォローが必要な場合も含めて診療するものです。専門的な診療には精神科の専門病院で診療を受けていただくのが良いと考えています。</p>
○大橋議員	<p>わかりました。「今後」と書かれてありますが、「心のケア外来」の開設時期はいつぐらいでしょうか。</p>
○森田病院長	<p>4月くらいからと考えています。</p>
○西田委員長	<p>他にご質問・ご意見はありませんか。 藤本委員。</p>
○藤本委員	<p>地域連携の強化は大切であると思っています。紹介率や逆紹介率の指標などからも良い方向に向かっていると思います。地域連携室も頑張っておられて、我々開業医と連携が取れつつあると思います。ただ、地域連携室はどうしても事務職の方が中心となり</p>

<p>○西田委員長</p>	<p>ますので、紹介する側から申しますと、できれば看護師などの医療職を入れていただけたらと有り難いと思います。他の地域支援病院の場合では、「コーディネーターナース」という看護師を地域連携室に常駐しており、緊急で入院させる場合には、その人につながぐことで、非常に緊密に連携を取り易い。現状医師会員に聞くと、ひらかた病院に患者を紹介しても断れたという場合も聞いたりますので、是非そこをよろしくお願ひしたい。今後とも連携をもっと取っていくために、そういうことをやっていただくことをよろしくお願ひします。</p> <p>他ご質問・ご意見はありませんか。 特にないようですので、本件については、この程度にとどめます。</p> <p>次に案件第3「有効活用地について」を議題とします。事務局に説明を求めます。 西村事務局長。</p>
<p>○西村事務局長</p>	<p>有効活用地については、口頭でご報告させていただきます。 有効活用地約2,500平方メートルは、新病院整備工事完了後に、枚方市医師会に有償譲渡するという方針については既に説明させていただいておりますが、概ねその時期が明らかになってまいりましたので報告させていただくものでございます。</p> <p>現在、当該用地につきましては、財産の有効活用を目的に、(昨年の6月から)駐車場運営事業者に目的外使用許可を付与し、本院は年間約300万円の使用料収入を得ているところですが、平成32年3月31日をもって許可期間が終わりますので、平成32年4月以降に、枚方市医師会へ売却することとし、今後そのための準備、測量などを進めていく予定でございます。ご報告は以上です。</p>
<p>○西田委員長</p>	<p>本件について、ご質問・ご意見はありませんか。 特にないようですので、本件については、聴取程度にとどめます。</p> <p>次に案件第4「その他について」を議題とします。事務局に説明を求めます。 山本次長兼経営管理室長。</p>
<p>○山本経営管理室長</p>	<p>それでは資料に基づいて説明させていただきます。 平成29年度枚方市医療産業連携勉強会の開催についてでございます。 これは産業文化部が担当ですが、商品開発によって医療環境</p>

	<p>の改善を目的として、地域産業クラスター研究会との主催により、市内の企業と医療機関で、遺産連携の勉強会を開催しております。</p> <p>本院は、昨年度からこの事業に参加・協力し、企業とのワークショップ等を行うことで、医療現場におけるニーズ等の情報提供を行ってまいりました。</p> <p>これまでのワークショップ等により企業から成果物が発表されるということですので、資料にございますとおり3月12日の月曜日に本講堂において、遺産連携の勉強会を開催します。当日は企業による成果物発表の他に、病院から新たなニーズ等についてのディスカッションを行う予定となっております。こうしたことを通じて、本院としても地域産業の振興に協力してまいりたいと考えておりますので、ご報告させていただきます。以上です。</p>
○西田委員長	<p>他ご質問・ご意見はありませんか。</p> <p>特にないようですので、本件については、聴取程度にとどめます。</p> <p>その他について、事務局に説明を求めます。</p> <p>西村事務局長。</p>
○西村事務局長	<p>本日の資料の最後ですが、本院主催の地域連携セミナー「慢性疲労症候群を知ろう」の開催について、ご案内させていただきます。</p> <p>[資料に基づいて説明]</p>
○西田委員長	<p>他ご質問・ご意見はありませんか。</p> <p>山本次長兼経営管理室長。</p>
○山本経営管理室長	<p>本院資料をご用意しておりませんが、ご報告させていただきます。本院では、病院のイメージアップや地域の活性化を図るため、今年度から関西外国語大学とのコラボレーション企画として、本院職員と学生との様々な取り組みを行っております。</p> <p>去る1月14日には、合同の新春イベントを開催しまして、入院されている患者さんや地域の住民の方など、多くの方々に来て頂き大いに盛り上がりました。今後こうした関係をさらに発展させるため、関西外国語大学が主催する課題解決型授業、PBLとありますが、これは企業が抱える課題等について、学生が1年をかけて課題解決について考えるゼミ形式のビジネス体験型授業です。ここにひらかた病院についてのテーマを設定い</p>

<p>○西田委員長</p>	<p>ただ予定です。テーマについては、現在、本院と大学で調整していますが、平成 30 年度末には学生によるプレゼンテーションが行われる予定とのことです。今後、本委員会でも報告させていただく予定です。以上です。</p> <p>以上で、本日の案件はすべて終了しました。 これで本日の議事を終了します。 閉会にあたり、病院長からご挨拶をお受けします。</p>
<p>○森田病院長</p>	<p><森田病院長の挨拶></p>
<p>○西田委員長</p>	<p>以上で、本日の会議を閉会します。 長時間にわたり、お疲れ様でした。</p> <p style="text-align: right;">(以上)</p>